

部局名	安全環境部	所属名	環境保全課 環境政策室	所属長名	谷口 路代	電話	483-1151 内線3211
-----	-------	-----	-------------	------	-------	----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要 (PLAN)

コード	3676	事務事業名称	環境保全総合事業				短縮コード	経常	3675	臨時	3676	
予算区分	会計	01	一般会計	款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	04	公害対策費
区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> その他		根拠法令等	八千代市環境基本条例, 八千代市公害防止条例, 八千代市環境審議会規則, 八千代市環境保全計画, 地球温暖化防止に向けた「八千代市率先実行計画」								
事業概要 (事務事業を開始したきっかけを含めて記入)												
平成13年4月6日「地球温暖化対策に関する法律」の制定により, 八千代市でも平成13年度に「地球温暖化防止に向けた八千代市率先実行計画」を策定した。温室効果ガス削減を目指して, さまざまな取組みを行った。さらにこの取組みを推進するため, 平成20年12月1日, 八千代市長が全職員に向け「エコアクション21」の取組みに向けての環境方針を宣言した。平成20年度に「エコアクション21」の認証を取得した。												
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱 (章)	03	第3章環境共生都市をめざして					
・1990年代後半以降, 企業などが「環境経営」を行っていることをアピールしたり, 取引先などから要請されるようになってきた。 ・最近では, 環境の面だけではなく, 社会的な面からも, 21世紀における企業経営にとって重要な要素になってきた。 ・平成24年度から, 環境保全総合事業は環境保全総務事業へ組み替えた。					大項目 (節)	01	第1節環境との共生・保全					
					中項目	01	1. 生活環境					
					小項目 (施策)	01	(1)環境保全対策の推進					
					細項目	01	①環境保全計画の推進					
					実施計画の計画事業							
				計画事業の位置付けの有無	<input type="checkbox"/>		計画事業期間	～			計画事業費	千円

2. 事務事業の目的・指標・実績 (DO)

対象 (誰を何を対象にしているのか)	①八千代市率先実行計画の策定及び進行管理事業→市職員及び市民 ②エコアクション21推進・管理事業→市職員及び市民						
手段 (具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	※平成23年度に実際に行ったこと: ①研修等の実施 (1) 管理職研修 (1回開催) (2) 一般職員研修 (1回開催) (3) 環境推進担当者会議 (1回開催) (4) 新規採用職員研修 (1回開催) (5) 内部環境監査 (1回開催) (6) 環境保全計画推進会議 (1回開催) ②環境活動レポートの作成 ※平成24年度に計画していること: ①環境推進担当者会議等の研修の実施。 ②各所属における目標の設定。 ③内部環境監査の実施。 ④環境活動レポートの作成。 ⑤エコアクション21の中間審査・更新審査 (書類審査・現地審査)						
意図 (何を狙っているのか)	①電力・燃料の消費及びごみ焼却等に伴う温室効果ガス総排出量の削減。 ②グリーン購入の推進。 ③エコアクション21の適正な運用						
ねらい (上位施策の意図)	入力対象外						
区分	指標	市職員数	人	22年度	23年度		24年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1			1,326	1,323	1,320	1,323
	指標2						
	指標3						
活動指標	指標1	環境活動レポートの発行回数	回数	1	1	1	1
	指標2	啓発を目的とした研修会等の開催回数	回数	5	4	6	4
	指標3	環境への負荷等の調査回数	回数	2	2	2	2
成果指標	指標1	グリーン購入の適合率	%	86	85		85
	指標2						
	指標3						
上位成果指標	指標1						
	指標2						
	指標3						

コード	3676	事務事業名称	環境保全総合事業		所属名	環境保全課 環境政策室
	単位	22年度		23年度		24年度
		実績	計画	実績	計画	計画
事業費 (A)	財源内訳	国	千円			
		県	千円			
		地方債	千円			
		一般財源	千円	3,220	2,159	2,100
	その他	千円				
主な事業費の内訳		環境推進担当者研修等4回分70千円	エコアクション21更新審査料3人分589千円	エコアクション21更新審査料3人分829千円	平成24年度から新規事業として組替えたため。	
		臨時的任用職員1023千円	環境推進担当者研修等3回分60千円	環境推進担当者研修等3回分40千円 臨時的任用職員983千円		
人件費 (B)		千円	12,904.8	14,251.7	15,881.2	0
トータルコスト (A)+(B)		千円	16,124.8	16,410.7	17,981.2	0

3. 事務事業の評価 (SEE)

評価類型	評価事項	評価区分	理由			
目的妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結び付いている	事業内容が、複数の施策にまたがり、結び付きが複雑になっていたことから見直しの余地があった。 平成24年度より、第4次総合計画の施策体系にあわせ、事務事業の見直しを行った。			
		<input checked="" type="checkbox"/> 結び付くが見直しの余地がある				
		<input type="checkbox"/> 結びつきが弱い・ない				
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項				
目的妥当性	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。	<input type="checkbox"/> 達成している	職員の環境意識の高揚を維持していく必要があるため、今後も継続していく。			
		<input checked="" type="checkbox"/> 達成していない				
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項				
		<input type="checkbox"/> 可能性はある				
<input checked="" type="checkbox"/> 可能性はない						
<input type="checkbox"/> 評価対象外事項						
目的妥当性	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？	<input type="checkbox"/> 現状のままでよい	事業内容が、第4次総合計画の複数の施策に結び付くなど複雑になっていたことから「対象」・「意図」の見直しが必要となっていた。 平成24年度より、第4次総合計画の施策体系にあわせ、対象・意図の見直しを行った。			
		<input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある				
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項				
		有効性・効率性				
<input type="checkbox"/> 効率性向上の可能性はある						
<input type="checkbox"/> 両方可能性はある						
<input checked="" type="checkbox"/> 可能性がない						
有効性・効率性	⑤-2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	<input type="checkbox"/> 民間委託等	類似 事務 事業 名称		1	実施主体 (所管部署)
		<input type="checkbox"/> 再任用職員及び臨時的任用職員等の活用				
		<input type="checkbox"/> IT化等の業務プロセスの見直し			2	実施主体 (所管部署)
		<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し				
		<input type="checkbox"/> 類似事業との統合・役割見直し				
		<input type="checkbox"/> 上記以外の方法				
有効性・効率性	⑤-3 推進にあたっての課題はあるか？(一時的な経費増・市民の理解等)	<input type="checkbox"/> ある				
		<input type="checkbox"/> ない				

コード	3676	事務事業名称	環境保全総合事業			所属名	環境保全課 環境政策室																				
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。		<input type="checkbox"/> 改革・改善して継続 <input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他			本事業をさらに推進し、成果を得るためには、その基盤となる職員の環境に対する意識の高揚が必須条件であり、かつ、各所属における事務事業を目標に設定することが必要となる。また、第4次総合計画の体系に合わせて、平成24年度から環境保全総合事業を環境保全総務事業に組替えた。																					
			<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 事業完了																								
		<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続																									
⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">経費</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>不変</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>不変</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </tbody> </table>					経費			削減	不変	増加	成果	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	不変	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	本事務事業を全般的に評価すると、着実に成果は向上している。しかし、その一方で低下している項目もある。今後、その項目について取組みを強化していく必要がある。	
		経費																									
		削減	不変	増加																							
成果	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																							
	不変	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																							
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																							

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
市関連施設より排出される廃棄物量と、二酸化炭素排出量等について、エコアクション21の環境経営マネジメントシステムを取り入れることでの削減効果について、確認を求められている。	

所属長コメント	平成23年度に第3次八千代市率先実行計画を策定した。八千代市率先実行計画を補完する観点から、平成21年3月に認証取得したエコアクション21は平成23年度に更新し、全庁的にCO2や廃棄物の削減、節水、化学物質の削減などに取組んでおり、一定の成果が得られていると思われるが、目標が未達成の項目がある。職員研修、各課へのヒヤリングや取組み内容、環境活動レポートでの公表などにより、さらなる環境意識の高揚に努めていく必要があると考えている。		
評価調整委員会評価	<input type="checkbox"/> 改革改善して継続 <input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 事業完了 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続		
	担当課の評価のとおり、現状のまま継続とする。なお、平成24年度当初予算において、第4次総合計画の施策体系に合わせた組替えを行った。		